

ほうこん

題字・清水英夫

GALAC・11月号・付録
2024年11月6日発行(毎月1回6日発行)
昭和43年3月8日第三種郵便物許可
〒160-0022
東京都新宿区新宿5-10-14 中村ビル2F
NPO法人放送批評懇談会
TEL(03)5379-5521/FAX(03)5379-5510
ホームページ <https://www.houkon.jp/>
Eメール kondankai@houkon.jp
編集・川喜田尚

放送懇セミナー2024、 12月開催決定!

— 9月理事会報告 —

2024年9月26日、9月理事会をZoomミーティングにて開催した。

1. 委員会活動報告

◇出版編集委員会 茅原委員長

・北林靖彦さんが新たに編集委員に加わることを理事会で承認した。
・8月19日にZoomで委員会を開催し、「GALAC」11月号の進捗確認、12月号特集について検討した。

・11月号特集は「地球沸騰化をどう報じるか」。根本かおるさんや井田寛子さんなど気候変動問題の最前線に立つ専門家による寄稿やインタビュ、東日本放送、福井テレビジョン放送など制作者や企業・団体による取り組みを取り上げる。表紙は岡部たかしさん、ザ・パーソンは真山仁さん。

・9月17日にZoomで委員会を開催し、「GALAC」12月号の進捗確認、2月号特集について検討した。

・12月号特集は『虎に翼』にみる朝ドラの今「バリ2024」が顕在化したもの(仮題)の二本立て。

前者では、「虎に翼」制作者座談会、視聴者の視点からの論考、「朝ドラと時代考証」「朝ドラの歴史」などで構成予定。後者では、バリオリンピック・パラリンピック総括として、専門家の論考、TVe rやRKB毎日放送の取り組みやSNSの動き、現地レポートなどで構成予定。表紙は成田凌さん、ザ・パーソンはテムジンの高倉天地さん。
・1月号特集は「第62回ギャラクシー賞上期」

・2月号特集は震災報道をテーマに検討中。

・1月号より連載「ダラクシー賞の秘密基地」を開始予定。

◇選奨事業委員会

(テレビ部門) 松山委員長

・8月1日にZoomで月評会を開催した。7月度月間賞には、ドラマ10「燕は戻ってこない」(NHK)、FNSドキュメンタリー大賞参加作品「58年その先に―袴田事件と再審法―」(テレビ静岡)、クローズアップ現代「隠された、被ばく者 ビキニ事件70年・救済を巡る闘い」(NHK)、ETV特集「法」の下の沈黙―優生保護法の罪 1948―2024―(NHK)の4本を選出した。

・8月30日にZoomで月評会を開催した。8月度月間賞には、サンバリュ「クイズタイムリープ」(日本テレビ)、特集ドラマ「昔はおれと同年だった田中さんとの友情」(NHK)、NHKスペシャル「グラランパの戦争―従軍写真家が遺した1千枚―」(NHK)、NHKスペシャル「1億特攻への道―隊員4000人 生と死の記

録」(NHK)の4本を選出した。

〈ラジオ部門〉 桜井委員長

・高瀬毅さんが新たにラジオ委員に加わることを理事会で承認した。

・8月26日にZooMで定例会を開催した。「戦後79年を伝える番組」をテーマに、「ニューススペコぱー×ガチモン！」核兵器の現状、広島・長崎を考える」(NHK第一)、「RCCラジオ特別番組 広島という名のもとに」(中国放送)、「戦後79年スペシャル反骨の、漫才ユモレスク」(文化放送)を聴取し議論を交わした。

・9月12日にリアルで定例会を開催した。「お笑いタレントによるローカル番組」をテーマに、「ティモンディの決起集会」(エフエム愛媛)、「ハッピーアワー」(九州朝日放送)、「オクラホマの日曜スピリッツ」(北海道放送)を聴取し議論を交わした。

〈CM部門〉 家田委員長

・8月23日にハイブリッド形式で定例会を開催し、39作品のCMを視聴した。ゼスプリキウイ「できることからはじめよう篇」、マクドナルド「ハッピーセット日記」シリーズ、パリオリンピック・パラリンピック関連CMなどの作品が注目を浴びた。

・9月20日にハイブリッド形式で定例会

を開催し、36作品のCMを視聴した。日産自動車の90周年記念ムービー、ドン・キホーテのブルーノ・マーズ出演CM「ドンキイクヨ」などが注目を浴びた。

〈報道活動部門〉 古川委員長

・櫻井要委員が諸般の事情で退任したことに伴い、境真理子さんが新たに報道活動委員に加わることを理事会で承認した。

・7月30日にZooMで報道活動意見交換会を開催し、各委員からそれぞれの領域における報道に関わる状況報告が行われ、注目点などについて議論を交わした。

・「ギャラクシー賞応募要項」について、参考資料として提出する素材を具体的に表記することとした。

◇企画事業委員会 長井委員長

・今年度のセミナーについて会議を重ね、次回セミナーを以下のように決定した。

なお、出演者は交渉中。

タイトル・「選挙報道をリポートする!! ネットにできない報道へのバージョンアップ」

日時・12月3日(火) 15時〜17時30分

方式・オンライン

◇広報委員会 滝野委員長

・7月30日にリアル、9月19日にZooMで委員会を開催した。

・9月委員会ではSNSを使った広報活

動について討議した。

・7月24日、HP「オリジナルコンテンツ」に「座談会」2024年夏ドラマを語る!」を掲載。

・8月20日、Xプレミアム(ベーシックプラン)に登録。これにより一つのポストで長文投稿が可能となった。

・Gメンバー・1410人(9/19現在)。

・マイベストTV賞6月度月間ノミネートは、木ドラ24「25時、赤坂で」(テレビ東京)、テレビ朝日開局65周年記念「Believe」君にかける橋」(テレビ朝日)、金曜ドラマ「笑うマトリョーシカ」(TBS)に決定した。

・マイベストTV賞7月度月間ノミネートは、ドラマNET「ひだまりが聴こえる」(テレビ東京)、「海のはじまり」(フジテレビ)、日曜ドラマ「降り積もれ孤独な死よ」(読売テレビ)に決定した。

2. 顧問弁護士契約の件

2024年10月1日付で、ヴァスコ・ダ・ガマ法律会計事務所の木嶋望弁護士と顧問弁護士契約を結んだ。

3. その他

①入退会の件

〈正会員入会〉 北林靖彦さん
〈正会員退会〉 中村亮平さん

②日韓中テレビ制作者フォーラムの件

第22回中国大会を、11月21日～24日に開催予定。詳細は検討中。

③NHK「ザ・ベストテレビ2024」の件

11月下旬、第61回ギャラクシー賞テレビ部門の優秀賞・選奨のドキュメンタリー作品がダイジェスト版で放送される予定。

今後の理事会

10月29日、11月26日

【出席】音好宏、川喜田尚、藤田真文、出田幸彦、桜井聖子、茅原良平、松山珠美、家田利一、古川柳子、長井展光、滝野俊一、岩根彰子、風間恵美子、国枝智樹、五井千鶴子、小林毅、水島宏明、中島好登

会議記録

1日	(選奨) テレビ月評会
7日	企画事業委員会
19日	出版編集委員会
23日	(選奨) CM定例部会
26日	(選奨) ラジオ定例部会
27日	企画事業委員会
30日	(選奨) テレビ月評会
9月
13日	企画事業委員会
17日	出版編集委員会
19日	広報委員会
20日	(選奨) CM定例部会
26日	理事会



新入正会員自己紹介

テレビの素晴らしさを

森山莉那

初めまして。今年度からお世話になります、森山です。

私は小さい頃からテレビ、特にドラマが大好きで、いつもドラマを拝見するたびに日本のドラマの素晴らしさを実感しています。素敵なプロデューサー、脚本家、監督、そして俳優、撮影スタッフなどたくさんの方々力が合わさって素敵な作品たちを私たちに届けてくださっています。

皆さんの凄さ、素晴らしさを、微力ながらも数多くのドラマを見て来て、ドラマの持つ力、素晴らしさに魅了され心を動かされた一人として、たくさんの方に感動を少しでも発信して届けたい、またドラマだけでなく、ラジオなど日本のエンターテインメントが届けてくれる楽しさをぜひとも皆さまと一緒に発信していきたいという思いで正会員の一人にならせていただきました。

至らぬ所もあるかと思いますが、皆さんと一緒に誠心誠意務めていきたいと思しますので、どうぞよろしくお願いたします。

放送文化基金 助成

イベント事業部門 新設

メディア文化、放送の価値向上を
目指すイベント・事業を募集！

「地域のすべての放送局でタグを組んで放送の存在感を示したい」
「新たなメディア環境を活用して、放送の新たな突破口を開きたい」
「局を越えて、放送の未来を担う制作者育成の場を作りたい」 etc

従来の枠組みにとらわれず、
新たな試みで放送を元気にしたい！
その思いを、助成金を使って実現しませんか？

● 申請期間

2024年10月1日～31日

(実施期間: 2025年3月～2026年2月)

詳細は、
放送文化基金HPへ



HBF
Hoso Bunkei Foundation



公益財団法人 放送文化基金